

お気に入りの本を入れる すてきな箱を作ろう

平成28年8月19日(金)、市内小学校を会場にして夏期実技研修会を開催しました。「お気に入りの本を入れる すてきな箱を作ろう」と題して、文庫本を持ち歩く時に本を入れる箱を作りました。



講師は、市内の巡回司書さんです。市内32名の小学校教員が参加し、作品作りに取り組みました。

まず始めに、厚紙を用いて、「内箱」を作りました。あらかじめ、用意しておいた型紙に合わせ厚紙を切っていく、組み立てていきます。「内箱の本体」と「ふた」が出来上がると、「表紙」「背表紙」なども同じように、型紙に合わせて切り、組み立てていきます。

【作り方の説明をする講師】

最後に、すべてのパーツを貼り合わせ、和紙を貼るとできあがりです。途中の難しいところでは、右の写真のようにグループで教え合って活動することができ、楽しく会話も弾みました。



【グループでの制作活動】

☆参加者の感想

- 厚紙からすてきな箱ができ、うれしくなりました。5.6年生の委員会で多読賞用に作ることができそうです。
- 完成した箱は、とてもすてきで大切なものを入れたいくなります。本を大切にすることができそうです。

マイブックプロジェクト

7月1日～9月30日、中学校2年生を対象にマイブックプロジェクトの活動が行われました。

マイブックプロジェクトとは、豊川市中央図書館が用意した図書購入券を学校で配布し、生徒は書店へ行って自分の読みたいと思う本を購入してくる活動です。これは、自ら書店で本を買うことで、本を買うことの楽しさを体験し、読書への興味をもち、高めるようにするのが目的で行われています。

今年も生徒たちはひとりで、あるいは友達や保護者の方と一緒に、市内にある指定された書店(8店舗が対象)へ向かいました。このプロジェクトにあわせ、中学生が読みたくなるような本のコーナーを設けている書店もあります。1500円以内で学級文庫にふさわしいものを選ぶ、というきまりはありますが、めいめいに読みたい本を選び、翌日学校へ持ってきます。学校で一覽に題名を記入したり、管理用のシールをはったりした後、手元に本が返され、生徒たちはそれぞれ読むことができます。読んだ後は、紹介文を書いて学級文庫に入れ、より多くの生徒に読んでもらえるようにしています。

現在学級には、自分たちで選んだ魅力的な学級文庫が並んでいます。読みたい本がすぐそばにあるのは、とてもありがたい環境に思われます。

☆生徒の感想

- 本を選んで楽しかった。買える本が2000円くらいまでだとよかった。

☆教師の感想

- 親子で書店に行く生徒も多く、本の購入を通して会話があったように思います。
- 朝の読書の時間に集中して本を読んでいる生徒が増えたように思います。